



学校だより 西北歳時記

長崎市立西北小学校 校長 立本 祐輔

NO. 3 令和4年7月14日 発行



間もなく！学期が終わります。



子どもたちが1学期に登校する日も、あと3日となりました。

今年は、平年よりもずいぶん早く梅雨が明け、気温が30℃を超える真夏日が毎日のように続いています。熱中症警戒アラートが発令された日は、外遊びや屋外での体育の学習を制限することもありました。新型コロナウイルスの感染者数も高止まり傾向で、その対策もあり、子どもたちは思いっきり体を動かすことができていない状況です。

せめて夏休みは、子どもたちが伸び伸びと過ごすことができる日が多くなることを願っています。

夏休みを楽しく、充実させるために がんばってほしいこと

何よりも元気に夏休みを過ごし、全員そろって2学期の始業式を迎えたいものです。また、夏休みは子どもたちの自立の芽を育てる絶好の機会です。お子さんと話し合っ、次の3つの点にチャレンジさせてください。

1 ゆっくりと本に浸る体験を！

夏休みは十分に時間があるので、さまざまなジャンルの本や日頃読みにくい長編などにも挑戦してはいかかでしょうか。読書は学力を高める上でも大変効果的ですが、いろいろな場所や時代に連れていってくれる「タイムマシン」のようなものです。たくさん本を読んで、いろいろな世界を体験し、心を豊かにしてほしいと思います。

2 家庭で十分なふれあいを！

子どもの健全育成の根本になるのは、やはり家族の信頼関係と豊かなコミュニケーションだと思います。今年の夏休みは、海や山などへ行くことが制限される場合もありますが、お子さんとたくさん会話をし、心と心の距離は離れずに家族の絆を深めていただきたいと思います。

3 「お手伝い」をさせましょう！

お手伝いをすることで、家族の一員としての自覚が生まれ、自分が必要とされる喜びを感じます。また、ちゃんとできたという実感がわき、達成感も味わえます。例えば「お風呂掃除」「食器の片づけ」等、学年の発達段階に応じて子どもたちが自分なりに継続することが望ましいですね。そして、家族からの「ありがとう。」「助かったよ。」の言葉掛けが子どもの自尊感情を高め、これからの励みにもつながると思います。

第1回 全校句会

先月、第1回全校句会を行いました。「夏」をテーマに全学年とも力作ぞろいの中、見事に入賞した作品を紹介します。

西北俳句大賞

優秀賞

優秀賞

先生特別賞

優秀賞

優秀賞

白山に マグマたれてく かき氷

六年 K・K

日やけして マスクの下にも またマスク 五年 K・S

日焼け止め ぬるのわすれて ポツキーに 四年 M・G

シャボン玉 風といっしょに おどつてる 三年 S・S

雨上がる にじの上空 見えるかな 二年 T・M

なつのあさ あめがぼたつと はれてにじ 一年 T・K

子どもたちに、夏休みの俳句創作を勧めました。

「夏の空」「夏の雲」「せみの声」など、キーワードになる言葉を決めてから考えると作りやすいことも伝えました。

2学期の俳句創作も楽しみにしています。

